



二村たか子からのお知らせ まちの声

赤坂字紅里 2 6 電話 & FAX : 8 7 - 4 4 5 3

E-mail: aai96240@pop06.odn.ne.jp

ご意見をお寄せ下さい。町政に関することなど、皆さんの声も掲載したく思います。



**桜が満開、心浮き立つこの季節は、新しい旅立ちのとき
でもあります。この町の将来のあり方を考えましょう**

私は3月議会で17年度予算に賛成しました。16年度、約35億円17年度、約30億円の大幅な減額予算となりました。長沢グリーンヒルの人口増により児童数が増加、長沢小学校の増築整備費約1.5億円の予算が組まれました。少子化の時代にうれしい事です。



予算関連で注目すべき事

音羽町も高齢化の時代です。あと4年くらいから、団塊の世代が退職を始めます。そこで、特別会計の国民健康保険・老人保健・介護保険の合計比較をしてみます。

12年度・・約12億1千万円

16年度・・約14億6千万円

17年度・・約15億3千万円

5年で約3億円の伸びです。国保会計は来年にも税率アップを考えねばとの予測もあります。

音羽町の税収は約15億円、毎年多くの自治体が借金をして予算を組みますが、健全とされる額は税収の2割で3億円となりますが、今年度の町の借金は約3.6億円です。

後援会ご入会の案内

「二村良子を囲む会」の会合を月1回実施お互いの情報交換や町政への夢、町づくりなど 話題は多岐にわたります。



合併をどう考えたらいいか…いよいよ人口1万人以下の勧告？



県庁での情報

5月に国が方針を出す。6月には町へ話し合いに、調査聞き取り、枠組みは9月ごろまでに、強制は出来ないが、選ぶのは、最終的に町民の皆さんです

1. 音羽町はゴミ、し尿、消防など事務組合、広域連合で豊川市に事務をやってもらっています。お金は支払いますが町単独ですべての仕事が出来ていない状況です。
2. 役場職員は1人で多くの事務を兼務しており、ぎりぎりの状態、高度化する行政事務に対応するには専門的な職員の配置が必要だが、財政的にもこれ以上の人件費は払えない。もし出来たとしても今度は少ない人口のため対象者が少なく無駄が多くなる。
3. 人口1人当たりの行政経費の比較(平成13年度の全国の平均値)
人口 5千人未満…… 約104万円
人口 5千人～1万人……約63万円・音羽町はここに位置します
人口 3万人～4万人……約36万円
人口 20万人～30万人…約32万円・豊川市と宝飯3町が合併すればここ豊川市と宝飯3町の合併が出来れば一番効率の良いコストとなる。
4. 国保、介護保険などの運営がきびしくなる。支える人口の少なさと、高齢化により
5. 地方分権が進み基礎的自治体の権限が強くなるが、対応できる自治体の能力は？
6. 合併しても今までの住民サービスの維持が出来るかどうか、合併しなければ、サービスが下がるか、税負担が増えるか、またはこの両方にみまわれるかきびしい状態。
7. 10年後20年後の地域のため、将来の世代のため、7百兆円余とも1千兆円ともいわれる借金はまだ国が破綻している状態。国を破綻させないためにも合併は必要。
8. 合併したくても、陸の孤島だったり、島だったりする地域と違って、音羽町は地理的条件も自然環境も、住環境もいい。今までの行政や、住民の努力で、下水など基盤整備も進んだ住みよい町が出来上がっている。



以上の理由で私は豊川市との合併を考えます。東三河市構想も取りざたされていますが、まだリーダーたちの考えもまとまっていない状態で、次の課題と思う。

二村の一般質問

1. 合併について住民の意向調査と首長たちの話し合いの場を

合併が非となってから、一宮町は豊川市と合併したのに1万人以下の町が自立できるのか、など不安の声が届く。最終的に住民の意思で結論が決まるのだから、現在、町民が合併についてどう考えているのか確認すべきではないか。こじれてしまったこの地域の合併について、リーダーたちの話し合いの場がもてないものか。

誰かが持ちかけるまで待つのは不安が募るのみで得策でない。

答弁 町長

合併は必要と考えているが、当面行政改革を進めながら今までどおりの行政を進め、合併は模索していくと申し上げてきた。今後、合併に関して、新法施行による新しい動きが出てくれば十分対応していきたい。住民の意思の確認は合併の方向性が位置づけられてからでいいと考える。リーダーたちの話し合いの場については町村会において3町の立場、あるいは状況等を尊重しあい、話し合いの場が持てるよう努力していく。

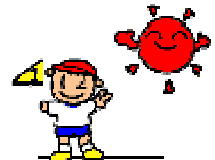


2. 協働のまちづくりに自治体職員の参加を

これからの時代、行政がすべてのサービスを担う事は困難。合併しても地域住民の参加でまちづくりが出来ているところは、その地域の特性が活かされるし、住民の結びつきも強くなる。ボランティア・NPOと行政がともにまちづくりに取り組むためのシステムづくりが必要。また参加型行政に情報は欠かせないと思うが、その情報の出し方、小坂井町では職員が出前行政をして情報を出している、音羽町でも出来ないか

ホームページ上で広場を作り若者の声などを聴くことは？研修や体験の機会作りは？あらゆる部門で職員が現場に出て町民と交わる事が大切、可能かどうか？

赤坂のポケットパーク(小公園)作りに利用者である子どもやお母さん方にプランから参加してもらったらどうか、身近な協働作業が出来る場があると思うが。



答弁 町長

町の広報紙、回覧板、町のホームページ、メールマガジンでやっているの、ホームページ上での広場作りは考えない。(私は双方向の情報交換を提案したのですが、先進自治体は実施)

研修の機会づくりは十分やっている。出前講座は要請があればやる。公園づくりへの意見は区長会、総代会などでご意見をもらっている。この方法を変えるつもりは無い。

二村 良子の議員活動と自己研鑽

- 1月11日 後援会会合
13日 議員勉強会
14日 広報編集委員会
15日 日本語教室ボランティア今年から成人のクラス担当
21日 音羽の明日を考える会
22日 日本語教室ボランティア
24日 議員勉強会
27日 議員研修会・国の財政と合併(小西砂千夫教授な)
28日 音羽町ボランティア交流会、東上自主防災会役員会
29日 女性議会ネット愛知岐阜三重の勉強会・多治見市長を囲んで自治体改革の実践を聞く。10人くらいの出席者で、市民派議員から市長になり、改革派市長として成果を挙げ、講演依頼多数。マニフェスト選挙、子どもの人権条例、総合計画を、夢でなく実施可能な計画に組みなおすなど先駆的改革を実践中
- 2月 1日 県庁へ、合併について地方課に聞く。財政、1万人以下の自治体への国の指針
西尾私案や地方制度調査会の考えは、など
4日 虹の会会合・サリドマイド薬の思わぬ利用法、睡眠薬として世界に甚大な薬禍をもたらしたこの薬が今、再承認され、注意深く投与され、成果を挙げている話など
5日 NPOの講演会。知多で介護から子育てまで幅広い活躍をしている松下典子さんのお話。講演後、県の男女参画室長と松下さんとの話し合いの場が持てた。音羽町の事例を聞くと、まずは はじめる事とのアドバイス
7日 NPOの実行委員会
10日 CAPの活動 豊橋児童相談所の方とロールプレイを見る
12日 公民館祭り
13日 自主防災会
14日 議員勉強会
17日 恵徳商法にあわないために・講演会出席
21日 新潟県津南町・合併の研修 行政と住民が自分の町の将来構想を徹底的に議論し、街づくりに燃えて自立、自律を考える町で研修
23日 議会運営委員会、音羽の明日を考える会、議員全員協議会
25日 NPO実行委員会
28日 議員勉強会
- 3月 2日 政経塾
3日 NPO会議
5日 水谷 修(夜回り先生)講演会・三重、愛知県が若者の薬物汚染の高い地域相談メールが多くて問題を抱えている地域と認識している。に驚く。対応策を考えねば。若者を取り巻く環境のきびしさを痛感
6日 慰霊祭
8日 中学校卒業式
9日 議会、補正予算と議案審議
10日 一般質問・2つを質問
12日 自主防災会地区集会 新旧役員の交代と新年度の活動方針の説明
14日 総務委員会で国保など、予算審査の内容を控え室にて傍聴
15日 産業建設委員会 下水道、水道会計の予算審議
17日 予算特別委員会の審査を聴く
18日 小学校卒業式
21日 穂の国NPO フェスタ・ボランティアへの助成金の審査会と講演会
22日 広報編集委員会
23日 議員勉強会
25日 保育園卒園式・
26日 NPO 総会
29日 音羽の明日を考える会、会派会議
- 4月2日 近隣市町の議員意見交換会

